

平成 30 年度 県立高校改革実施計画(I 期) 横浜南西地域 研究成果発表会

- ◇ 内容 ・ 指定校の研究成果の発表
- ◇ 目的 ・ 地域内の県立高等学校等に向け、指定校が研究成果を発表し、その普及・共有を図ることによって、県立高校等の教育活動の充実に資する。
  - ・ 生徒の個性や能力を伸ばし、質の高い教育の充実に係る取組の研究や実践発表を通じて、地域内各校の教育力向上に資する。
- ◇ プログラム ・ 開会あいさつ
  - ・ 発表・質疑
  - ・ 講評
  - ・ 閉会あいさつ

(発表一覧)

No	発表表題	学校名	指定事業名
1	グローバル教育研究推進校としての取組について	横浜平沼	グローバル教育研究推進校
2	プログラミング教育の理念を踏まえた授業づくり	横浜緑ヶ丘	プログラミング教育研究推進校
3	確かな学力育成推進校 3年間の成果と課題	永谷	確かな学力育成推進校
4	生徒の資質・能力の育成を目的とした多面的な評価の実践による、主体的・対話的で深い学びの促進と共有	光陵	教育課程研究開発校 (新たな学習評価)
5	S S H 報告	希望ヶ丘	理数教育推進校
6	ICT を活用した主体的・対話的で深い学びの実践～「人と社会と未来につながる力」を身に付けるために～	横浜旭陵	I C T 利活用授業研究推進校
7	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業の実践	松陽	授業力向上推進重点校
8	新教科「公共」教育課程研究開発校としての取組	瀬谷西	教育課程研究開発校(新科目公共)



▲発表風景 (光陵)



▲発表風景 (松陽)



▲発表風景 (横浜平沼)

平成 30 年度 県立高校改革実施計画(I 期) 横浜南西地域 学習成果発表会

- ◇ 内容 ・ 生徒による学習成果の発表
- ◇ 目的 ・ 指定校に限らず、授業の内容や成果、各学校独自の個性ある取組等を生徒が発表することにより、表現力や論理を構築する力等を身に付け、社会で生きていく上で必要な資質・能力の向上につなげる。
  - ・ 各学校における学習活動等について、その取組や成果をプレゼンテーション、ポスター、展示等で発表することで、近隣の学校の活動の様子を知り、生徒同士の交流の場とする。県立高校改革実施計画 I 期指定校による生徒の個性や能力を伸ばし、質の高い教育の充実に係る取組の研究や実践発表を通じて、地域内各校の教育力向上に資する。
- ◇ プログラム
  - ・ 開会あいさつ
  - ・ 学習成果発表会の方法等の説明
  - ・ 発表
  - ・ 振り返り
  - ・ 講評
  - ・ 閉会あいさつ

(発表一覧)

No	タイトル	発表方法	発表校 (学年)
1	グローバルな hiranumagic	P C スライド	横浜平沼 (2 年)
2	「売れるバンドと楽曲の法則」 「みんなの知らないカエルの世界」	P C スライド	横浜緑ヶ丘 (3 年)
3	『水の東西』から人間と自然の関わりについて考える	P C スライド	永谷 (1 年)
4.	どのようなテレビCMが人に好感を与えるのか	P C スライド	光陵 (2 年)
5.	外来植物からつくるヘアオイル	ポスター	希望ヶ丘 (2 年)
6	葉を光らせる	ポスター	希望ヶ丘 (2 年)
7	英語でディベートにチャレンジ!	P C スライド	横浜旭陵 (2 年)
8	エミューと出会い、学んだこと	ポスター	横浜旭陵 (3 年)
9	美術史の取組について	ポスター	上矢部 (1 年)
10	ひれで操縦する艇の研究	P C スライド	横浜栄 (2 年)
11	The 沖縄仰天ニュース	ポスター	松陽 (2 年)
12	地域などの場所によって水害の起こりやすさに関わりがあるのか	ポスター	松陽 (1 年)
13	手話を通して学んだこと	ポスター	横浜緑園 (2・3 年)
14	これからの社会の話をしよう	ポスター	瀬谷西 (1 年)



▲発表風景



▲講評

(参加者アンケートより)

○生徒

(1) 学習成果発表会はいかがでしたか？

1 大変よかった	2 よかった	3 あまりよくなかった	4 よくなかった
27人	11人	0人	0人

(2) 学習成果発表会は今後の学習に役立つと思えましたか？

1 大いに役に立つ	2 役に立つ	3 あまり役に立たない	4 役に立たない
18人	20人	0人	0人

(感想等)

- ・他の学校での授業の様子を知ることはあまり出来ないので、いい機会でした。
- ・実際に発表するとき、写真やグラフなどの資料が多いところは見やすく分かりやすかったイメージがあったので、参考になった。
- ・CM発表が一番興味を持ちました。英語でディベート授業をやりたいと思いました。
- ・話し方や身振り手振りなどの伝え方から学ぶことが多くありました。
- ・いろいろなブースを回っていて、見に来ている人が集中しているとか、飽きさせない工夫に、なるほどと思うところが多くありました。
- ・ただ大きい声を出すだけでなく、相手に伝える難しさを改めて知りました。
- ・いろいろな観点から考えたものがたくさんあっておもしろかった。調べ学習をして考察をしている所が多くて新鮮だった。
- ・クイズ形式にしたり、音楽や動画を流したりするのが、わかりやすく良いなと思いました。
- ・自分と同世代の人の意見や考えを聞くことができ、勉強になりました。
- ・誰かに意見を求めることで、新しい発見が出来た。
- ・内容というよりも発表の仕方という点で勉強になった。
- ・聴いている側も参加できる、プレゼン参加型だったところ。
- ・これから手話をもっと身近になって、もっと多くの人が学んでくれたら良いなと思う。

○教員

(1) 学習成果発表会の内容は今後の指導の参考になりましたか？

1 参考になった	2 おおむね参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった
37人	10人	0人	0人

(2) 研究成果発表会の内容は今後の指導の参考になりましたか？

1 参考になった	2 おおむね参考になった	3 あまり参考にならなかった	4 参考にならなかった
32人	9人	0人	0人

(感想等)

◇ 学習成果発表会について

- ・優れた実践事例を沢山聞くことが出来て良かった。
- ・生徒の自分で決めたテーマを調べ進める姿を見ることが出来た。また、それを表現する力がとても素晴しかった。
- ・生徒が生き活きと発表していて良かった。興味のあることを深く調べており、勉強になり面白かったです。発表の形式も様々でとても参考になった。これからの指導に活かしていきたいと感じた。
- ・各学校の特徴を生かした発表が良かった。
- ・各校の生徒の取組、多様でおもしろかった。内容・方法の多様性が子どもたちの刺激になったと思う。
- ・発表者のプロフィールが資料にあると良かった。
- ・生徒が互いに学び合う姿が見られ、非常に良い取り組みだと思った。
- ・どのグループも発表がしっかり出来ていて、質問等にも答えられるくらい深く学んでいると思いました。
- ・映像や印刷物だけでなく、実物や実演があると印象が強く残ると思いました。

◇ 研究成果発表会について

- ・学校教育の方法は様々あるが、深い学びを目指すことに変わりないことを確認できた。
- ・ICT利活用の実践例をお聞きして、勤務校でも活かしていきたいと感じました。
- ・研究授業や授業評価の視点が変わった。
- ・どれだけ多くの学校で共有できるかが大切。
- ・どの高校でも「生徒がどのように学ぶか」という点を意識しており、プログラミング教育もICTも手法の1つであることに改めて気づかされました。
- ・様々な研究指定校の実践を部分的にでも試していきたいと思いました。
- ・個人が推し進めていくのではなく、全教員で少しずつでも進めていくという考え方に共感できました。
- ・現時点での課題に答える形になっていて、とても勉強になった。
- ・先生方がチームで取り組んでいるのがすばらしい。
- ・授業の教材に関連して日常生活の課題につなげて、生徒の探求心を引き出していたため、今後の授業の内容や総合の探求につなげていきたい。